令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	高等学校等補助事業				コード	05230100-0301	
中事業名	高等学校等補助事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	教育総務課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる	会計		1	一般会計	
基本施策	23	学校教育	款		10	教育費	
主要施策	01	個に応じた教育体制の充実	項		01	教育総務費	
			目		02	事務局費	
			大		03	高等学校等補助事業	
			中		01	高等学校等補助事業	
根拠法令・条例等	日進市高等学校等修学助成金交付要綱						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	広報・市ホームページ等にて周知・募集を行い、申請受付を行う。申請者の所得区分に応じて交付決定を行い、修学資金の助成を行う。
対象	高等学校等の生徒
意図（目的）	教育の機会均等及び有用な人材の育成を図る。
手段	市民・学校への周知

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			11,501	10,255	10,352	12,816	10,690	7,263	8,052
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		11,501	10,255	10,352	12,816	10,690	7,263	8,052

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	制度の周知方法として、従来、市広報への掲載を申請開始前の１回のみとしていたが、見落としの可能性も考慮して２か月連続して掲載し、ＨＰも申請期限が近付いたら目立つように適宜更新するようにする。また、本制度の対象者のうち、県制度の対象者となる者に、県制度の利用もれがないよう、交付通知時に知らせるようにする。今後、次年度に向け、国、県の給付額の変動を遅滞なく捕捉し、助成額の変更が必要かどうか判定する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	国、県の動向に合わせて、助成額や対象者の変更を適宜行う。市の福祉部署に対し、本制度や県制度の周知を図り、それぞれ申請漏れがないよう、申請期限内に対象者に働きかけをするよう要請する。

令和 3年度に取り組んだこと	制度の周知に当たり、市広報への掲載を申請開始前の４月号と申請期間終了月の６月号の２回行い、ＨＰも申請開始日に更新し目に留まるよう工夫した。また、市の福祉部署に対し、市、県制度の周知を図るとともに、市制度の対象者のうち、県制度の対象となる者に、交付通知にその旨付記し、県制度の申請を促し、利用もれがないよう努めた。

成果	保護者等の経済的理由により高等学校等の修学が困難な状況にある生徒142人に、修学に必要な資金を助成し、教育の機会均等と将来自立できる人材育成に寄与した。
課題	制度の周知として、学校を通じた効果は大きいことから、学校への働きかけを継続しつつ、ＨＰでの検索性を意識し、制度に対する一般的に想起されるような言葉で掲載するなどさらなる工夫を研究する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	令和３年度は、低所得世帯に属する生徒への助成制度として、国・県の奨学給付金制度と連動した制度となるよう変更をした初年度であったが、大きな混乱もなく実施することができた。また、同じ所得層における交付対象者数にも大きな変動はなかったことから、現状のまま実施する。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	国、県制度における制度と連動した制度設計をしているため、引き続き、国、県制度における給付額の変動や制度見直しの動向に即応できるよう、こまめに情報収集を行う。周知についても引き続き、各方面へ働きかけを行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	国、県制度における制度と連動した制度設計をしているため、引き続き、国、県制度における給付額の変動や制度見直しの動向に即応できるよう、こまめに情報収集を行う。				

【アウトプット指標】

指標名	日進市高等学校等修学助成金申請者数						単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	596.00	398.00	416.00	443.00	203.00	239.00	157.00	

【アウトカム指標】

指標名	日進市高等学校等修学助成金交付決定率						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	100.00	86.18	100.00	89.49	100.00	59.41	100.00	
式	交付決定者数/申請者数*100							
指標の狙い	申請した高等学校等在学者のうち、所得や住所要件を満たす者が交付対象者となるため、交付率が高いということは、交付対象要件を満たす者が制度の存在を知り、利用することができていることになり、必要とする者に助成ができているということになる。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	教育委員会事務局事務				コード	05230200-0202	
中事業名	地域活動学校開放事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部			担当課等	教育総務課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	23	学校教育		款	10	教育費
	主要施策	02	地域とともにある教育活動の推進		項	01	教育総務費
					目	02	事務局費
					大	02	教育委員会事務局事務
					中	02	地域活動学校開放事業
根拠法令・条例等	日進市立小・中学校体育施設等使用に関する取扱要領　等						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	利用を希望する団体はあらかじめ団体登録を行う。登録団体は、学校経由で教育委員会へ利用申請を行い、学校運営に支障のない範囲で運動場・体育館などの学校施設を活用し、各学区の児童生徒や地域住民の地域活動を行う。
対象	地域団体
意図（目的）	地域活動が活発になることにより、コミュニティ育成や生涯学習活動の推進を図る。
手段	地域開放施設管理業務の委託

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			705	464	704	141	1,412	331	1,213
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		705	464	704	141	1,412	331	1,213

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 3年度に取り組んだこと	教員多忙化解消の方策の一つとして、令和２年度に地域開放事業の受付事務を教育総務課に移管した。令和３年度は、施設の施錠管理等も全て教育総務課に移管し、同種のスポーツ開放事業と合わせて、シルバー人材センターに委託して実施した。

成果	新型コロナの影響により、実際に利用できた件数はコロナ前より半減しているが、登録団体数はあまり変化はなく、申請件数もコロナ前の状況に戻ってきており、地域活動団体の活動の場として認知されている。
課題	利用団体の利用マナーは概ね良好であるが、まれに当日無断キャンセルにより、委託料でキャンセル分を支払うことがある。予備日の予約取り消し忘れが多いことから、事前連絡の徹底もさることながら、事務局において、あらかじめ予備日の取り消し確認をすることを事務に組み込む必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果
評価の理由	学校と地域活動団体との関係は良好であり、互いに協力的な関係を維持していることから、現状のまま継続することが望ましい。また、生涯学習課と協力してスポーツ開放事業と一体で施設の施錠管理の委託をすることで、事務の効率化を図り、重複を排除し、支出を抑える工夫もしている。		

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		地域とともにある学校づくりの一環として、地域学校協働活動への利用団体の参加を促すため、周知方法の検討を生涯学習課と協力して行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		生涯学習課所管の地域学校協働活動とスポーツ開放事業との連携や一体的な事業体制について、整理検討を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	申請件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
		257.00		188.00	350.00	209.00	250.00

【アウトカム指標】

指標名	登録団体数					単位	団体
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
		73.00		72.00	73.00	68.00	73.00
式	各年度で学校体育施設等を利用するため登録した団体数						
指標の狙い	学校施設を利用するための登録団体が増えることは、地域活動団体の活性化につながり、地域とともにある学校づくりに寄与するものである。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトカム指標２】

指標名	開放件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
		251.00		85.00	350.00	106.00	150.00
式	登録団体が実際に学校施設を利用した件数						
指標の狙い	地域活動団体の活動の場の提供に寄与したことを示すものである。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	小学校管理事業				コード	05230300-0201	
中事業名	小学校管理事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	教育総務課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計	
基本施策	23	学校教育		款	10	教育費	
主要施策	03	教育基盤の整備		項	02	小学校費	
				目	01	学校管理費	
				大	02	小学校管理事業	
				中	01	小学校管理事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	経年劣化等に対応し、快適な学習環境を維持するため、計画的改修を行う。本年度は、南小学校外壁改修工事、香久山小学校トイレ改修工事、東小学校始め５校の体育館トイレ改修工事を施工する。また、新学習指導要領を見据えた教育ICT環境整備として普通教室及びPC教室へタブレット端末を導入する。
対象	児童
意図（目的）	より良い教育環境で授業に臨み、安全安心な学校生活を送る。
手段	修繕・改修工事の実施、校用備品の購入　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			436,686	385,971	310,601	504,157	368,047	471,831	467,056
財源内訳	特定財源	国庫支出金	34,896	12,855	0	65,795	0	0	20,238
		県支出金	0	0	0	0	2,520	2,729	0
		地方債	45,000	0	0	0	0	0	21,000
		その他	1,526	1,792	1,671	17,126	1,672	1,889	1,864
	一般財源		355,264	371,324	308,930	421,236	363,855	467,213	423,954

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	東小学校外壁改修工事や飛散防止対策工事（南小学校・相野山小学校・香久山小学校）、老朽化した空調設備の更新（西小学校）を始め施設修繕を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	北小学校の外壁改修や老朽化した屋上防水、空調設備の更新工事等の施設修繕を行う。 GIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末整備について、児童数の増加に対応し、学習活動におけるICTの積極的な利活用を推進するため、教員用も含めて進める。教室の新規設置や改修を行う場合、校内NW、無線AP、充電保管庫等のICT環境を整備する。

令和 3年度に取り組んだこと	普通教室改修工事・ICT環境整備（西・東・北・南・赤池小）や北小保健室空調改修工事を行い、繰越事業として東小学校外壁改修工事、飛散防止対策工事（南・相野山・香久山小）、空調改修工事（西小）を行った。また、児童数増加に対応するため児童用タブレット端末の追加整備を行った。

成果	老朽化対策を計画的に実施し、35人学級の実施に伴う普通教室の確保ができた。また、教室の無線ネットワーク環境の構築により、教育ＩＣＴ環境整備ができた。
課題	外壁、屋上防水、空調設備は、改修から年数が経過しており今後も計画的に推進する必要がある。建築年数が古く躯体や給排水設備の老朽化が進んでいる学校については、再整備の計画を検討していく必要がある。GIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末は、児童数の増加に対応しつつ、積極的な利活用を推進するため、教員用も含めて整備をする必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	施設の長寿命化を図るため、修繕予算枠において、老朽化対策のための改修工事を行った。また、学校関係者との連絡協議により、不良箇所の改修及び児童や教職員の安全を確保するための修繕を行った。児童用タブレット端末整備、無線ＬＡＮ環境の整備により、国が進める教育ＩＣＴ環境整備の推進につながった。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		赤池小教室改修工事、電話設備更新工事（梨の木・赤池小）、西小遊具改修工事、北小外壁改修工事、図書館空調改修工事（東・北・南・香久山小）を始め施設修繕を行う。また、繰越事業として普通教室改修工事に伴う空調設置工事（西・東・北・南小）、特別教室等空調設置工事、南小教室改修工事、GIGAスクール構想に係る教員用タブレット端末整備、特別教室等ネットワーク整備を行う。			
今後の方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		相野山小トイレ改修工事、香久山小外壁改修工事、老朽化した屋上防水・空調設備更新工事を始め施設修繕を行う。令和2年度末に整備したGIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末については、今後2～3年で更新の時期を迎えることから、円滑に無駄なく更新をしていくため、各校に配備されている端末管理を徹底する。			

【アウトプット指標】

指標名	修繕・改修経費						単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	261,731.00	244,043.00	147,247.00	139,941.00	165,492.00	230,442.00		489,722.00

【アウトカム指標】

指標名	学校における事故・怪我件数						単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00		0.00
式	学校施設が原因となる事故・怪我の件数							
指標の狙い	生徒が安全かつ安心して学校で過ごすことができる環境を整備するため、0を目指す。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	タブレット端末配備数					単位	台
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	588.00	588.00	6,158.00	6,158.00	164.00	61.00	166.00

【アウトカム指標２】

指標名	教員のＩＣＴ活用指導力					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	53.80	60.00	55.60	60.00	57.13	60.00
式	文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」のうち「教員のＩＣＴ活用指導力の状況」調査の各項目で「できる」又は「ややできる」と回答した教員数の割合。						
指標の狙い	教員がＩＣＴを活用した授業を実施できるように、学校におけるＩＣＴ環境の整備を進めることが市の役割と考えられることから、数値を上げることを目標とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	中学校管理事業				コード	05230300-0201	
中事業名	中学校管理事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	教育総務課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計	
基本施策	23	学校教育		款	10	教育費	
主要施策	03	教育基盤の整備		項	03	中学校費	
				目	01	学校管理費	
				大	02	中学校管理事業	
				中	01	中学校管理事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	経年劣化等に対応し、快適な学習環境を維持するため、計画的改修を行う。本年度は、日進西中学校の外壁改修工事、日進西中学校・日進東中学校の体育館トイレ改修工事を施工する。また、新学習指導要領を見据えたＩＣＴ教育環境整備として普通教室へタブレット端末を導入する。
対象	生徒
意図（目的）	より良い教育環境で授業に臨み、安全安心な学校生活を送る。
手段	修繕・改修工事の実施、校用備品の購入　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			148,196	154,792	157,429	262,444	174,653	190,324	213,239
財源内訳	特定財源	国庫支出金	6,033	3,968	0	32,897	0	0	7,542
		県支出金	0	0	0	0	1,119	1,212	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,124	566	1,134	6,975	1,135	10,627	1,135
	一般財源		141,039	150,258	156,295	222,572	172,399	178,485	204,562

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	日進中学校外壁改修工事や飛散防止対策工事（日進西中学校・日進東中学校）、老朽化した空調設備の更新（日進西中学校）を始め施設修繕を行う。 ＧＩＧＡスクール用タブレット端末について、生徒数の増加による不足が生じないよう追加整備に向けた準備を行う。また、教員用タブレット端末の整備に向けた準備を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	日進中学校の外壁改修や老朽化した屋上防水、空調設備の更新工事を始め施設修繕を行う。 GIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末整備について、生徒数の増加に対応し、学習活動におけるICTの積極的な利活用を推進するため、教員用も含めて進める。教室の新規設置や改修を行う場合、校内NW、無線AP、充電保管庫等のICT環境を整備する。

令和 3年度に取り組んだこと	北中普通教室改修工事を始め施設修繕を行った。繰越事業として、飛散防止対策工事（西・東中）、老朽化した空調設備の更新（西中）を行った。また、生徒数増加に対応するため生徒用タブレット端末の追加整備を行い、寄附により教員用タブレット端末整備を一部行った。

成果	老朽化対策を計画的に実施し、生徒数増加に伴う普通教室の確保ができた。また、教室の無線ネットワーク環境の構築により、教育ＩＣＴ環境整備ができた。
課題	外壁、屋上防水、空調設備は、改修から年数が経過しており今後も計画的に推進する必要がある。建築年数が古く躯体や給排水設備の老朽化が進んでいる学校については、再整備の計画を検討していく必要がある。GIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末は、生徒数の増加に対応しつつ、積極的な利活用を推進するため、教員用も含めて整備をする必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	施設の長寿命化を図るため、修繕予算枠において、老朽化対策のための改修工事を行った。また、学校関係者との連絡協議により、不良箇所の改修及び児童や教職員の安全を確保するための修繕を行った。生徒用タブレット端末整備、無線ＬＡＮ環境の整備により、国が進める教育ＩＣＴ環境整備の推進につながった。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	日中屋上防水、外壁・エレベータ改修工事を始め施設修繕を行う。繰越事業として北中教室改修工事、GIGAスクール構想実現に向けた教員用タブレット端末整備、特別教室等ネットワーク整備を行う。				
今後の方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	東中外壁改修工事、老朽化した屋上防水・空調設備更新工事を始め施設修繕を行う。令和2年度末に整備したGIGAｽｸｰﾙ用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末については、今後2～3年で更新の時期を迎えることから、円滑に無駄なく更新をしていくため、各校に配備されている端末管理を徹底する。				

【アウトプット指標】

指標名	修繕・改修経費					単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	64,435.00	56,462.00	42,130.00	50,880.00	52,264.00	42,972.00	123,482.00

【アウトカム指標】

指標名	学校における事故・怪我件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	学校施設が原因となる事故・怪我の件数						
指標の狙い	生徒が安全かつ安心して学校で過ごすことができる環境を整備するため、0を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	タブレット端末配備数					単位	台
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	138.00	138.00	2,726.00	2,726.00	73.00	186.00	90.00

【アウトカム指標２】

指標名	教員のＩＣＴ活用指導力					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	56.30	60.00	56.70	60.00	67.50	70.00
式	文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」のうち「教員のＩＣＴ活用指導力の状況」調査の各項目で「できる」又は「ややできる」と回答した教員数の割合。						
指標の狙い	教員がＩＣＴを活用した授業を実施できるように、学校におけるＩＣＴ環境の整備を進めることが市の役割と考えられることから、数値を上げることを目標とする。						